

裏面白紙

昭和十八年十二月廿日  
農林省  
農商省  
山林局長  
越智  
元均

昭和十八年十二月廿日

農商省 山林局長

殿

薪炭確保對策ニ關スル件

明三十一日内閣ニ於テ打合可致認定ノ薪炭確保對策要綱案送附申上

候



## 第一 万針

既近ニ於ケル新炭生産ノ現況ニ鑑ミ之ガ生産ヲ増強シ時々下國民生  
活ノ安定上必要ナル家庭燃費並ニ販賣者道上必要ナル頭工薪用及  
公用新炭ノ確保ヲ圖ルハ喫緊ノ要事ナルヲ以テ左ノ委領ニ依リ右生  
産ニ必至ナル措置ヲ講ゼントス

## 第二 委領

一 新炭ノ生産者販賣價位ニ再検討ヲ加ヘ昭和十八年七月二十三日  
閣議決定ノ「價格補給金割度要綱」ニ基ク帶給金ノ額ヲ増額シ適  
正ナル原木代、勞費及企業利潤等ヲ基準トシ必至ナル生産數量ノ  
確保ヲ圖リ得ル登真ノ價格ヲ調整スルコト

二 新炭需給調節特別會計ニ於テ販賣用新木炭ト同様產地蒐荷倉  
庫ニ於テ貿入レ爾後ノ輸送ハ政府ノ責任ニ於テ之ヲ行フモノトス  
ルコト

三 新炭用新炭ノ増強ヲ圖ル爲新炭需給調節特別會計ニ於テ貿入ノ他

ノ一般新炭ニ微ヒ之ガ貿入ヲ行フコト

四 新炭ノ原木ヲ確保シ其ノ價格ヲ適正ナラシムル爲立木ニ付最高  
取賣價格ヲ設定スルコト

五 新炭ノ生產、配給ノ圓滑ヲ圖ル爲新炭ノ生產、搬出用資材並ニ  
陸上小運送、機械燃運送等ニ付特ニ考慮ヲ爲スコト

六 新炭ノ販賣必要量ヲ確保スルニ必至ナル新炭勞務者ヲ保持スル  
爲現在登録セル新炭勞務者ノ確保ヲ圖ルノ外其ノ轉廢業ヲ阻止ス

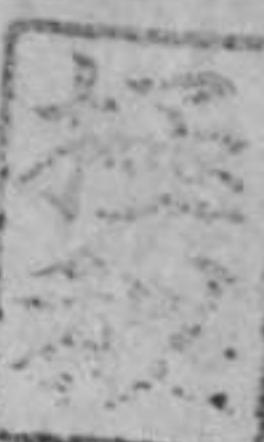
ルニ通切ナル音韻ヲ樂ズルコト

七、京畿、愛知、京阪諸ラ中心トシ國有林総二千六百町歩一薪ニシ

テ毎六百五十束ノヲ伐採シ薪炭ノ叢業者強ヲ國ルコト

八、本年度薪炭諸給ノ被和ラ四ル爲意焉ニ燒炭、豆炭ノ製造ニ必要ナ

ル原木炭ノ確保ヲ國ルコト



## 第一 万針

既近ニ於ケル新炭生産ノ現況ニ鑑ミ之が生産ヲ増加シ國民生活ノ安定上必要ナル家庭燃料並ニ火力者地上必學ナル領工業用及送用新炭ノ確保ヲ圖ルハ喫緊ノ要事アルシ以テ左ノ要領ニ依リ其生産ニ必學ナル措置ヲ講ゼントス

## 第二 要領

一 新炭ノ生産者販賣價格ニ再核算ヲ加ヘ昭和十八年七月二十三日閣議決定ノ「價格補給金額應納基ク補給金ノ額ヲ増額シ過正ナル原木代、勞資及企業利潤等ヲ斟酌トシ必要ナル生産數量ノ確保ヲ圖リ得ル委員ノ價格ヲ調整スルコト

二 新炭語保調節特別會計ニ於テ販賣用新木炭ト同様產地兎荷倉庫ニ於テ貿入レ爾後ノ輸送ハ政府ノ責任ニ於テ之ヲ行フモノトスルコト

三 瓦斯用新炭ノ増強ヲ圖ル爲新炭語保調節特別會計ニ於テ真ノ他ノ一般新炭ニ做ヒ之ガ貿入ヲ行フコト

四 新炭ノ原木ヲ確保シ其ノ價格ヲ適正ナラシムル爲立木ニ何最高販賣價格ヲ設定スルコト

五 新炭ノ生産、配給ノ圓滑ヲ圖ル爲新炭ノ生產、搬出用資材並ニ陸上小運送、鐵道輸送等ニ付帶ニ考慮ヲ爲スコト

六 新炭ノ最低必要量ヲ確保スルニ必要ナル新炭勞務者ヲ保持スル爲現在登録セル新炭勞務者ノ確保ヲ圖ルノ外其ノ轉廢棄ヲ阻止ス

ルニ通切ナル旨言ラ奉ズルコト

七 京畿、愛知、京阪府ラ中心トシ國有林約二千六百町歩一薪ニシ  
テ泥六百五十束ノヲ伐採シ薪炭ノ収益増強ラ圖ルコト

八 本年度薪炭賄給ノ廢和シ四ル爲急務ニ京畿、豆炭ノ製造ニ必要ナ  
ル原木炭ノ確保ラ圖ルコト